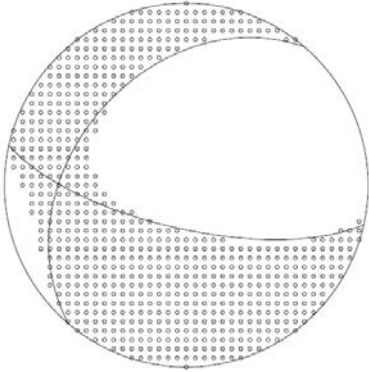


# 5月28日 サウスサンドウィッチ諸島の地震 (W-phase を用いたメカニズム解析)

W-phase による解

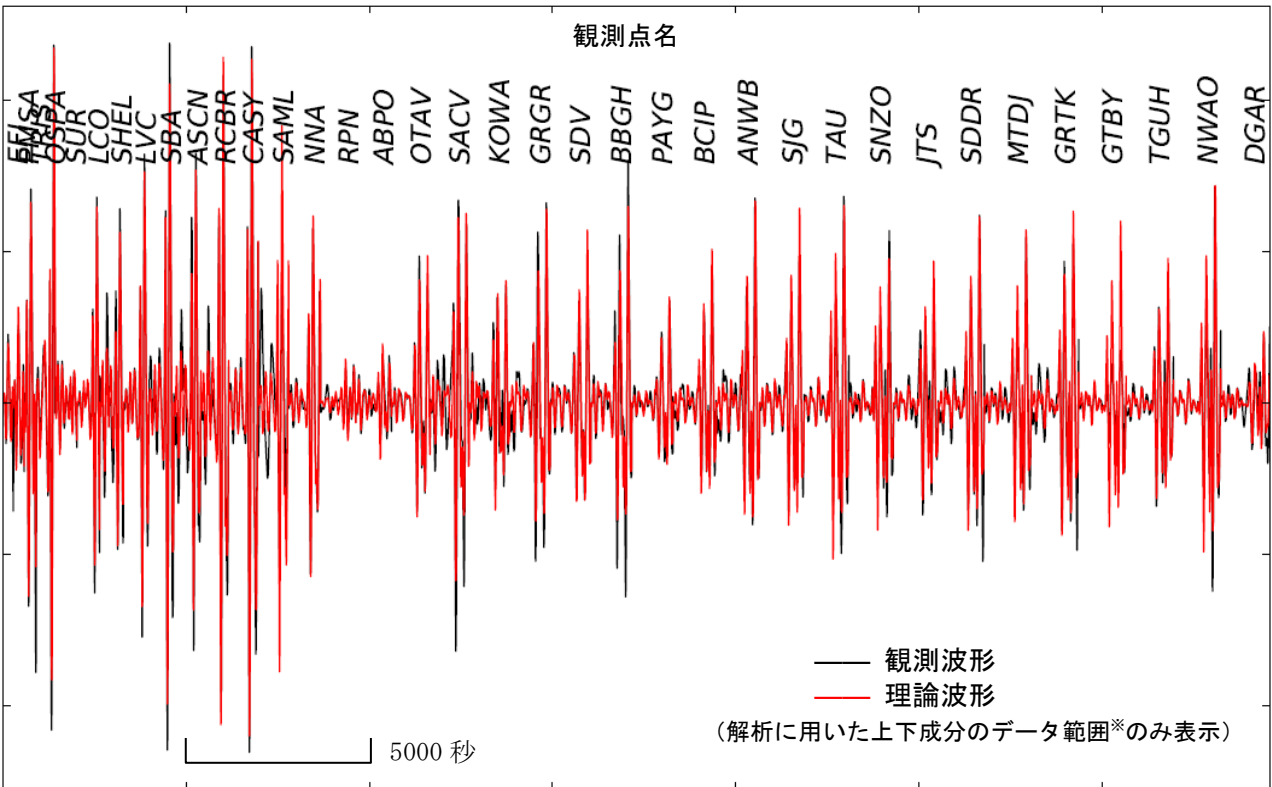


2016年5月28日18時46分(日本時間)にサウスサンドウィッチ諸島で発生した地震について W-phase を用いたメカニズム解析を行った。メカニズム、 $M_w$ とも、Global CMT などの他機関の解析結果とほぼ同様であり、 $M_w$ は7.2であった。なお、W-phase の解析で求めた震源は  $S56.1^\circ$ 、 $W26.5^\circ$ 、深さ61kmとなった。

W-phase の解析では、震央距離  $10^\circ \sim 90^\circ$  までの36観測点の上下成分、28観測点の水平成分を用い、100~300秒のフィルターを使用した。

注) W-phase とは P 波から S 波付近までの長周期の実体波を指す。

$M_w$	$M_0$	断層面解 1 (走向/傾斜/すべり角)	断層面解 2 (走向/傾斜/すべり角)
7.2	$8.22 \times 10^{19} \text{Nm}$	$102.6^\circ / 70.4^\circ / -57.5^\circ$	$220.4^\circ / 37.4^\circ / -146.4^\circ$



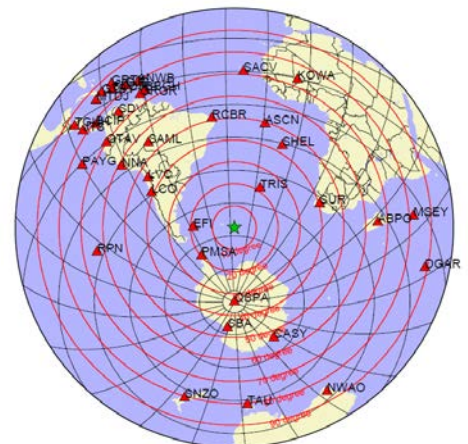
※解析に用いたデータの範囲は15秒×震央距離(度)としており、各々の観測点の解析区間のみを繋げた波形を表示している。

(W-phase に関する参考文献)

Kanamori, H and L. Rivera, 2008, Geophys. J. Int., **175**, 222-238.

解析データには IRIS-DMC より取得した広帯域地震波形記録を使用した。

また、解析には金森博士及び Rivera 博士に頂いたプログラムを使用した。記して感謝する。



解析に使用した観測点配置  
気象庁作成